

【がん化学療法レジメン】

宮崎県済生会日向病院 2024 年 12 月 1 日改訂 《無断転載禁止》

対象疾患	適応	レジメン名	コース期間	総コース数	催吐リスク
大腸癌	■進行・再発 ☐ 術前補充療法 ☐ 術後補助療法	RAM+FOLFIRI療法	14日間	規定無し	中

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	day													
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
①	デキサート パロノセトロン ポララミン 生理食塩液	6.6mg 0.75mg 5mg 100mL	点滴静注	20分	↓													
②	生理食塩液	50mL	点滴静注	10分	↓													
③	サイラムザ 生理食塩液	8mg/kg 100mL	点滴静注	60分	↓													
④	生理食塩液	50mL	点滴静注	10分	↓													
⑤※	イリノテカン 生理食塩液	150mg/m ² 250mL	点滴静注	120分	↓													
⑥※	レボホリナート 生理食塩液	200mg/m ² 250mL	点滴静注	120分	↓													
⑦	フルオロウラシル (5FU) 生理食塩液	400mg/m ² 50mL	点滴静注	15分	↓													
⑧	生理食塩液	50mL	点滴静注	10分	↓													
⑨	フルオロウラシル (5FU) 生理食塩液	2400mg/m ² 適量	点滴静注	46時間	↓	↓	↓											
※	⑤と⑥は同時に投与																	

《注意事項・備考》

- ・ RAM：インフュージョンリアクション対策としてポララミン注5mg前投与
- ・ 制吐療法：悪心嘔吐状況に応じてアロカリス点滴静注235mg投与を考慮、投与の際はデキサート3.3mgへ減量とする